

3 障がい福祉サービスに関する各サービスの見込量

(1) 訪問系サービス

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
居宅介護	見込量(A)時間/月	60,418	65,874	71,822	68,366	71,791	75,388
	実績(B)時間/月	59,612	61,998	63,950	66,389	69,024	
	B/A(%)	98.7%	94.1%	89.0%	97.1%	96.1%	
重度訪問介護	見込量(A)時間/月	29,138	32,637	36,557	26,750	27,204	27,666
	実績(B)時間/月	25,240	24,845	25,665	26,237	26,064	
	B/A(%)	86.6%	76.1%	70.2%	98.1%	95.8%	
同行援護*	見込量(A)時間/月	22,051	23,676	25,421	16,572	16,632	16,692
	実績(B)時間/月	8,197	16,454	15,483	14,936	14,606	
	B/A(%)	37.2%	69.5%	60.9%	90.1%	87.8%	
行動援護	見込量(A)時間/月	739	935	1,183	1,425	1,733	2,107
	実績(B)時間/月	977	964	1,095	996	1,038	
	B/A(%)	132.2%	103.1%	92.6%	69.9%	59.9%	
重度障害者等 包括支援	見込量(A)人	0	0	0	3	3	3
	実績(B)人	0	3	3	3	3	
	B/A(%)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	

※ 時間/月:1月当たりの利用時間数

※ 人:1月当たりの実利用人数

* 同行援護は、平成23年10月からのサービス(視覚障がい者は移動支援から同行援護へ平成25年度完全移行)

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
平成28年度実績に、平成26年度から平成28年度の平均伸び率を乗じています。同行援護については、平成28年度実績としています。重度障害者等包括支援については、定員枠で見込んでいます。		障がいのある人とその家族が安心して暮らせるよう福祉サービスを継続して実施するとともに、さらなる充実等に努めます。			
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
居宅介護	時間/月	ホームヘルパーによる身体介護・家事援助等を行うものです。	74,513	77,419	80,438
	人		3,036	3,155	3,278
重度訪問介護	時間/月	重度の肢体不自由者か重度の行動障がい有する者で常に必要とする人に、身体介護・家事援助に加え、外出時の移動の支援が見守り、コミュニケーション支援を行うものです。	26,483	26,695	26,909
	人		62	62	63
同行援護※	時間/月	視覚障がいにより移動に著しい困難を有する障がい児・者に対し、外出時において移動に必要な情報の提供、移動の援護を行うものです。	14,606	14,606	14,606
	人		530	530	530
行動援護	時間/月	行動に著しく困難を有し常時介護を要する知的・精神障がい児・者が外出する際に、必要な援助を行うものです。	1,078	1,098	1,119
	人		93	95	97
重度障害者等包括支援	人日	介護の必要がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的にこなうものです。	180	180	180
	人		6	6	6

※ 時間/月:1月当たりの利用時間数

※ 人:1月当たりの実利用人数

※ 人日:月間の利用人数(実人数)×1人1月あたりの平均利用日数

(2) 日中活動系サービス

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生活介護	見込量(A)人	2,160	2,250	2,350	2,773	2,901	3,029
	実績(B)人	2,389	2,517	2,644	2,735	2,859	
	B/A(%)	110.6%	111.9%	112.5%	98.6%	98.6%	
自立訓練 (機能訓練)	見込量(A)人	80	90	90	70	80	90
	実績(B)人	57	66	63	78	60	
	B/A(%)	71.3%	73.3%	70.0%	111.4%	75.0%	
自立訓練 (生活訓練)	見込量(A)人	190	200	210	200	210	220
	実績(B)人	162	182	187	203	224	
	B/A(%)	85.3%	91.0%	89.0%	101.5%	106.7%	
就労移行支援	見込量(A)人	290	310	320	620	700	780
	実績(B)人	392	460	606	694	680	
	B/A(%)	135.2%	148.4%	189.4%	111.9%	97.1%	
就労継続支援 (A型)	見込量(A)人	140	170	200	815	1,018	1,221
	実績(B)人	206	409	722	902	1,035	
	B/A(%)	147.1%	240.6%	361.0%	110.7%	101.7%	
就労継続支援 (B型)	見込量(A)人	1,050	1,070	1,090	1,785	1,931	2,077
	実績(B)人	1,347	1,493	1,592	1,691	1,805	
	B/A(%)	128.3%	139.5%	146.1%	94.7%	93.5%	
療養介護	見込量(A)人	70	74	78	210	220	230
	実績(B)人	194	192	200	207	205	
	B/A(%)	277.1%	259.5%	256.4%	98.6%	93.2%	
短期入所	見込量(A)人日	1,682	1,953	2,267			
	実績(B)人日	1,414	1,589	1,937			
	B/A(%)	84.1%	81.4%	85.4%			
短期入所 (福祉型)	見込量(A)人日				1,768	1,955	2,162
	実績(B)人日				2,332	3,294	
	B/A(%)				131.9%	168.5%	
短期入所 (医療型)	見込量(A)人日				175	193	213
	実績(B)人日				484	577	
	B/A(%)				276.6%	299.0%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

※ 人日 : 月間の利用人数(実人数) × 1人1月あたりの平均利用日数

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
過去の実績の伸び数等を踏まえて、見込み量を算出しています。 就労移行支援については、国指針に基づき、平成32年度末の利用者数が平成28年度末の利用者から2割以上増加するよう見込んでいます。			障がいのある人の障がいの状態や希望に合わせて選択できるよう必要量を見込み、障がいのある人の日中活動の場の整備に努めます。 短期入所事業については、NPO法人との共働事業の成果を活かし、引き続き、事業所拡充に努めます。		
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
生活介護	人日	常時介護を要する人に、日中、入浴、排せつ、食事の介護などを行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供するものです。	53,492	55,637	57,869
	人		3,092	3,216	3,345
自立訓練 (機能訓練)	人日	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行うものです。	784	896	1,008
	人		70	80	90
自立訓練 (生活訓練)	人日		4,062	4,439	4,862
	人		269	294	322
就労移行支援	人日	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行うものです。	12,716	13,294	13,872
	人		748	782	816
就労継続支援 (A型)	人日	原則として事業所と雇用契約を結んで利用するものです。	19,044	19,044	19,044
	人		1,035	1,035	1,035
就労継続支援 (B型)	人日	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うものです。	33,161	35,316	37,616
	人		2,047	2,180	2,322
就労定着支援	人	就労移行支援等の利用を経て一般就労へ移行した人に、障がい者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行うものです。	新規事業のため見込量を設定しない		
療養介護	人	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護や日常生活上の援助などを行うものです。	220	230	240
短期入所 (福祉型)	人日	介護者の疾病等のため一時的に介護ができない場合に、施設、病院で宿泊を伴った預かりを行うものです。	3,532	3,642	3,749
	人		865	892	918
短期入所 (医療型)	人日		613	633	650
	人		147	152	156

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

※ 人日: 月間の利用人数(実人数) × 1人1月あたりの平均利用日数

(3) 居住系サービス

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
共同生活援助 (グループホーム)*	見込量(A)人	485	549	617	840	940	1,040
	実績(B)人	552	640	697	744	800	
	B/A(%)	113.8%	116.6%	113.0%	88.6%	85.1%	
施設入所支援	見込量(A)人	1,258	1,245	1,232	1,262	1,249	1,236
	実績(B)人	1,273	1,288	1,301	1,291	1,299	
	B/A(%)	101.2%	103.5%	105.6%	102.3%	104.0%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

* 平成26年4月から共同生活介護(ケアホーム)が共同生活援助(グループホーム)に一元化

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策				
(グループホーム) 平成27年度から平成28年度の伸び数を踏まえて、見込み量を算出しています。		障がいのある人の障がいの状況や希望を踏まえ、ライフステージ全体で切れ目のない住まいの支援が行われるよう、グループホーム及び入所施設の必要量を見込み、グループホームに関しては、民間賃貸物件の情報提供や市営住宅の活用などさまざまな手法により、障がいのある人の住まいの確保に努めます。				
(施設入所支援) 近年の実績等を考慮し、見込んでいます。						
サービスの種類		サービスの概要		第5期見込量		
				平成30年度	平成31年度	平成32年度
自立生活援助	人	障がい者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する人に対して、一定の期間にわたり、定期的な巡回訪問や随時の対応により、その人の理解力、生活力等を補う観点から、適時のタイミングで適切な支援を行うものです。		新規事業のため見込量を設定しない		
共同生活援助 (グループホーム)	人	夜間や休日、共同生活を営む住居で、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を行うものです。		1,000	1,100	1,200
施設入所支援	人	施設に入所する人を対象に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護などを行うものです。		1,299	1,299	1,299

(4) 相談支援

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画相談支援	見込量(A)人	6,450	7,106	7,829	13,560	15,079	16,767
	実績(B)人	39	130	2,569	9,389	12,061	
	B/A(%)	0.6%	1.8%	32.8%	69.2%	80.0%	
地域移行支援*	見込量(A)人	13	14	15	10	10	10
	実績(B)人	1	6	7	5	8	
	B/A(%)	7.7%	42.9%	46.7%	50.0%	80.0%	
地域定着支援*	見込量(A)人	25	26	27	15	15	15
	実績(B)人	3	10	18	12	10	
	B/A(%)	12.0%	38.5%	66.7%	80.0%	66.7%	

* 平成24年4月からサービス開始

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
計画相談支援については、国の考え方を踏まえ、障がい福祉サービス及び地域相談支援の利用者すべてを対象として見込んでいます。 地域移行支援及び地域定着支援については、支援実績や障がい福祉サービスの伸び率等を踏まえ、見込んでいます。		サービス等利用計画の作成を一層促進するため、特定相談支援事業所の増加及び相談支援専門員の資質向上に取り組んでいきます。また、地域相談支援体制の整備、充実を図ります。			
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
計画相談支援	人/年	障がい福祉サービス及び地域相談支援の利用を希望する人に対し、サービス等利用計画を作成するとともに、サービス実施後は定期的にモニタリングを行うものです。	13,893	14,315	14,736
地域移行支援	人/年	施設や精神科病院から退所・退院する障がい者に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談等の支援を行うものです。	10	11	11
地域定着支援	人/年	施設・精神科病院からの退所・退院や家族からの独立などにより単身生活に移行した人などに対して、常時の連絡体制を確保し、障がい特性に起因して生じた緊急の事態等に相談などの支援を行うものです。	16	16	17

(5) 障がい児通所支援

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
児童発達支援*	見込量(A)人日				5,487	5,596	5,708
	実績(B)人日	5,378	5,282	6,215	6,539	7,544	
	B/A(%)				119.2%	134.8%	
	見込量(A)人				508	518	529
	実績(B)人	492	495	523	571	829	
	B/A(%)				112.4%	160.0%	
医療型児童発達支援*	見込量(A)人日				555	555	555
	実績(B)人日	528	581	714	626	597	
	B/A(%)				112.8%	107.6%	
	見込量(A)人				84	84	84
	実績(B)人	81	86	87	84	84	
	B/A(%)				100.0%	100.0%	
放課後等デイサービス*	見込量(A)人日				12,595	16,322	20,038
	実績(B)人日	778	5,012	11,647	18,722	25,860	
	B/A(%)				148.6%	158.4%	
	見込量(A)人				1,247	1,616	1,984
	実績(B)人	123	498	915	1,301	1,695	
	B/A(%)				104.3%	104.9%	
保育所等訪問支援*	見込量(A)人日				10	20	30
	実績(B)人日	0	0	0	0	0	
	B/A(%)				0.0%	0.0%	
	見込量(A)人				5	10	20
	実績(B)人	0	0	0	0	0	
	B/A(%)				0.0%	0.0%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

※ 人日: 月間の利用人数(実人数)×1人1月あたりの平均利用日数

* 平成24年4月からサービス開始(児童福祉法改正による)。計画策定は第4期から

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
近年の実績等を考慮し見込んでいます。			障がい児が必要な支援を受けることができるよう、療育の場の充実に努めます。		
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
児童発達支援	人日	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行うものです。	9,219	9,208	9,132
	人		852	851	844
医療型児童発達支援	人日	児童発達支援及び治療を行うものです。	650	650	642
	人		90	90	89
居宅訪問型児童発達支援	人日	重度の障がいの状態にあり外出が困難な障がい児に対して、居宅を訪問して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、生活能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行うものです。	40	40	40
	人		40	40	40
放課後等デイサービス	人日	授業の終了後又は学校休業日に、施設に通わせ、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行うものです。	39,300	46,537	54,153
	人		2,441	2,855	3,302
保育所等訪問支援	人日	保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のために専門的な支援その他必要な支援を行うものです。	40	40	40
	人		20	20	20

(6) 障がい児入所支援

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
福祉型児童入所施設*	見込量(A)人				25	25	25
	実績(B)人	24	25	27	20	19	
	B/A(%)				80.0%	76.0%	
医療型児童入所施設*	見込量(A)人				22	22	22
	実績(B)人	24	20	21	20	23	
	B/A(%)				90.9%	104.5%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

* 平成24年4月からサービス開始(児童福祉法改正による)。計画策定は第4期から

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
近年の実績等を考慮し見込んでいます。			障がい児が必要な支援を受けることができるよう、適切に対応します。		
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
福祉型児童入所施設	人	障がい児入所施設に入所等をする障がい児に対して、保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与を行うものです。	24	24	24
医療型児童入所施設	人	障がい児入所施設又は指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行うものです。	23	23	23

(7) 障がい児相談支援

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
障がい児相談支援*	見込量(A)人				203	249	296
	実績(B)人	10	46	129	226	196	
	B/A(%)				111.3%	78.7%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

* 平成24年4月からサービス開始(児童福祉法改正による)。計画策定は第4期から

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
近年の実績等を考慮し見込んでいます。			障がい児相談支援事業所の指定と相談支援専門員の資質向上に取り組めます。		
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
障がい児相談支援	人	障がい児通所給付サービス利用の調整を必要とする人に対し、サービス利用計画を作成するものです。	321	360	403

(8) 医療的ケア児支援調整コーディネーターの配置

○第5期計画の見込み量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
国の指針に基づき、新たに設置します。			研修の実施等により、コーディネーターの養成に取り組めます。		
サービスの種類		サービスの概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
医療的ケア児支援調整コーディネーター	人	医療的ケア児に対する各種支援の調整を行います。	1	1	1

4 地域生活支援事業に関する各事業の見込量

(1) 必須事業

① 相談支援事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
心身障がい福祉センター	見込量(A)力所	2	2	2	2	2	2
	実績(B)力所	2	2	2	2	2	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
療育センター	見込量(A)力所	2	2	2	2	2	2
	実績(B)力所	2	2	2	2	2	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
知的障がい者相談支援センター	見込量(A)力所	7	7	7	7	7	
	実績(B)力所	7	7	7	7	7	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
精神障がい者相談支援センター	見込量(A)力所	7	7	7	7	7	
	実績(B)力所	7	7	7	7	7	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
区障がい者基幹相談支援センター	見込量(A)力所						14
	実績(B)力所						
	B/A(%)						
障がい者相談支援事業小計	見込量(A)力所	18	18	18	18	18	18
	実績(B)力所	18	18	18	18	18	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
地域自立支援協議会	見込量(A)力所	1	1	1	1	1	1
	実績(B)力所	1	1	1	1	1	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
障がい児等療育支援事業	見込量(A)力所	3	3	3	3	3	3
	実績(B)力所	3	3	3	3	3	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
基幹相談支援センター等機能強化事業	見込量(A)力所	1	1	1	17	17	17
	実績(B)力所	1	1	1	17	17	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
住宅入居等支援事業	見込量(A)人	46	46	46	37	37	37
	実績(B)人	47	28	29	7	1	
	B/A(%)	102.2%	60.9%	63.0%	18.9%	2.7%	
成年後見制度利用支援事業	見込量(A)人	1	1	1	2	2	2
	実績(B)人	5	2	7	4	5	
	B/A(%)	500.0%	200.0%	700.0%	200.0%	250.0%	

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
相談支援機関については、国の法整備の動向を踏まえ、充実強化していきます。		3障がいに対応できる相談支援体制づくりや、サービス等利用計画の普及に伴う相談支援専門員の資質の向上を図るとともに、体制の充実に努めます。 障がい者等の生活課題の解決に向け、障がい者等地域生活支援協議会の協議を充実し、障がい者等が継続して地域で生活できるよう総合的な支援体制の充実に努めます。 地域の相談支援の中核となる基幹相談支援センターと連携し、障がい者虐待の防止を推進していきます。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
心身障がい福祉センター	力所	障がい児・者やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他障がい福祉サービスの利用等を支援するとともに、虐待防止等の権利擁護のために必要な援助を行います。また、障がい児通園施設の機能を活用し、施設利用の援助を行う等、障がい児の相談支援を充実強化していきます。心身障がい者福祉センター及び療育センターは障がい児、区障がい者基幹相談支援センターは学齢以上の障がい児・者を支援しています。市障がい者基幹相談支援センターは区障がい者基幹相談支援センターで対応困難な重度の身体障がい者等を支援しています。	1	1	1
療育センター	力所		2	2	2
市障がい者基幹相談支援センター	力所		1	1	1
区障がい者基幹相談支援センター	力所		14	14	14
障がい者相談支援事業小計	力所		18	18	18
地域自立支援協議会	力所	障がい児・者の福祉、医療、教育、雇用等の関係機関等で構成される障がい者等地域生活支援協議会を設置し、障がい者等の支援体制に関する課題の情報共有、関係機関等の連携の緊密化、地域の実情に応じた体制の整備についての協議を行うとともに、市が策定する障がい福祉計画案に対して意見を進言します。	1	1	1
障がい児等療育支援事業	力所	在宅の重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)及び身体障がい児の地域における生活を支えるため、訪問による療育指導や外来による専門的な療育相談、指導等を行います。	3	3	3
基幹相談支援センター等機能強化事業	力所	一般的な相談支援事業に加え、特に必要な能力を有する専門職員を基幹相談支援センター等に配置し、相談支援機能の一層の強化を図ります。	16	16	16
住宅入居等支援事業	人	賃貸住宅への入居に当たって、必要な入居支援や居住支援について関係機関によるサポート体制の調整等を行います。	4	4	4
成年後見制度利用支援事業	人	成年後見制度の市長申立てに要する経費及び市長申立後の後見人等の報酬の全部または一部を助成します。	5	5	5

② コミュニケーション支援事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
手話通訳者派遣事業	見込量(A)人	2,262	2,262	2,262	2,441	2,441	2,441
	実績(B)人	2,378	2,503	2,449	2,524	2,782	
	B/A(%)	105.1%	110.7%	108.3%	103.4%	114.0%	
	見込量(A)件				2,213	2,213	2,213
	実績(B)件	2,128	2,297	2,267	2,302	2,530	
	B/A(%)				104.0%	114.3%	
要約筆記者派遣事業	見込量(A)件	191	191	191	210	210	210
	実績(B)件	198	221	216	206	250	
	B/A(%)	103.7%	115.7%	113.1%	98.1%	119.0%	
盲ろう者通訳・介助員派遣事業	見込量(A)件				108	108	108
	実績(B)件				162	218	
	B/A(%)				150.0%	201.9%	
手話通訳者設置事業	見込量(A)人				5	5	5
	実績(B)人				8	8	
	B/A(%)				160.0%	160.0%	
重度障がい者入院時コミュニケーション支援事業*	見込量(A)人				7	7	7
	実績(B)人	1	7	4	6	5	
	B/A(%)				85.7%	71.4%	

* 平成24年4月からサービス開始

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込量の確保のための方策		
近年の実績等を考慮し、見込んでいます。			手話通訳者や要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員の養成・派遣事業を継続します。 重度障がい者入院時コミュニケーション支援については、適正な事業実施を行います。		
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
手話通訳者派遣事業	人	聴覚障がい者が公的機関等に赴くときに円滑な意思の疎通が困難な場合に手話通訳者を派遣します。	2,796	2,810	2,824
	件		2,533	2,536	2,539
要約筆記者派遣事業	件	聴覚障がい者が公的機関等に赴くときに円滑な意思の疎通が困難な場合に要約筆記者を派遣します。	250	250	250
盲ろう者通訳・介助員派遣事業	件	一人で外出することが困難な重度の盲ろう者が、社会参加等による外出の際に、移動及び意思疎通支援のために盲ろう者通訳・介助員を派遣します。	218	218	218
手話通訳者設置事業	人	聴覚障がい者の意思疎通を支援するために、区福祉・介護保険課及び福岡市聴覚障がい者情報センターに手話通訳者を設置します。	8	8	8
重度障がい者入院時コミュニケーション支援事業	人	入院中の意思疎通が困難な重度の障がい者に対し、医療従事者との意思疎通を円滑化し、適切な治療が受けられるように支援を実施します。	7	8	9

③ 日常生活用具給付事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護・訓練 支援用具	見込量(A)件	109	109	109	168	186	205
	実績(B)件	128	138	120	136	91	
	B/A(%)	117.4%	126.6%	110.1%	81.0%	48.9%	
自立生活 支援用具	見込量(A)件	314	314	314	392	405	418
	実績(B)件	342	368	340	370	254	
	B/A(%)	108.9%	117.2%	108.3%	94.4%	62.7%	
在宅療養等 支援用具	見込量(A)件	210	210	210	291	304	318
	実績(B)件	382	266	316	305	318	
	B/A(%)	181.9%	126.7%	150.5%	104.8%	104.6%	
情報・意思疎通 支援用具	見込量(A)件	320	320	320	448	463	478
	実績(B)件	386	421	337	315	304	
	B/A(%)	120.6%	131.6%	105.3%	70.3%	65.7%	
排せつ管理 支援用具	見込量(A)件	33,824	37,815	42,277	22,978	23,585	24,198
	実績(B)件	20,967	21,836	22,394	21,405	23,681	
	B/A(%)	62.0%	57.7%	53.0%	93.2%	100.4%	
居宅生活動 作補助用具	見込量(A)件	62	62	62	89	97	105
	実績(B)件	75	76	67	68	54	
	B/A(%)	121.0%	122.6%	108.1%	76.4%	55.7%	

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
近年の実績等を考慮し、見込んでいます。		日常生活用具の提供者は100社以上あり、今後の見込み量に対応可能であると考えております。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
介護・訓練 支援用具	件	心身障がい者(児)の日常生活の便宜を図るため、用具の給付を行います。	116	116	116
自立生活 支援用具	件		321	321	321
在宅療養等 支援用具	件		313	313	313
情報・意思疎通 支援用具	件		449	449	449
排せつ管理 支援用具※	件		25,172	25,952	26,757
居宅生活動 作補助用具	件		63	63	63

※ 排せつ管理支援用具は、継続的に給付するものであるため、1人1か月分の給付を1件とし、年間の累計を計上している。

④ 移動支援事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実利用人数	見込量(A)人	831	907	990	923	971	1,021
	実績(B)人	897	835	888	984	1,012	
	B/A(%)	107.9%	92.1%	89.7%	106.6%	104.2%	
利用時間数	見込量(A)時間/月	13,515	14,511	15,580	16,098	16,905	17,752
	実績(B)時間/月	25,118	14,599	13,968	14,340	14,667	
	B/A(%)	185.9%	100.6%	89.7%	89.1%	86.8%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

※ 時間/月: 1月当たりの利用時間数

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
平成29年度の制度拡充，近年の実績等を考慮し見込んでいます。		国の制度の動向に留意しながら，適正な事業実施を行います。			
項目		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
実利用人数	人	一人での外出が困難な障がい児・者の外出時の移動の介護を行うものです。	1,309	1,371	1,433
利用時間数	時間/月		18,448	18,909	19,382

⑤ 地域活動支援センター機能強化事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
Ⅰ型	見込量(A)カ所	7	7	7	7	7	7
	実績(B)カ所	7	7	7	7	7	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	見込量(A)人	140	140	140	140	140	140
	実績(B)人	140	140	173	174	167	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	123.6%	124.3%	119.3%	
Ⅱ型・Ⅲ型*	見込量(A)カ所	20	24	30	15	15	12
	実績(B)カ所	16	14	15	13	11	
	B/A(%)	80.0%	58.3%	50.0%	86.7%	73.3%	
	見込量(A)人	343	386	463	260	260	176
	実績(B)人	324	242	258	241	208	
	B/A(%)	94.5%	62.7%	55.7%	92.7%	80.0%	

* 利用人数の実績については、平成26年度からⅣ型の利用人数を含む。

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込量の確保のための方策			
地域活動支援センターⅠ型は、設置完了しており、Ⅱ型・Ⅲ型・Ⅳ型については、障がい福祉サービス事業所への移行を考慮して見込んでいます。		障がい福祉サービス事業所への移行を支援していきます。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
Ⅰ型	力所	相談支援事業に加え、専門職員による医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業を行う団体等に対して補助を行います。	7	7	7
	人		171	171	171
Ⅱ型・Ⅲ型・Ⅳ型	力所	地域において雇用・就労が困難な障がい者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行う地域の障がい者団体等に対して補助を行います。	14	13	13
	人		182	159	159

⑥ 発達障がい者支援センター運営事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設置数	見込量(A)か所	1	1	1	1	1	1
	実績(B)か所	1	1	1	1	1	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
相談支援人数	見込量(A)人	1,435	1,615	1,795	1,571	1,656	1,741
	実績(B)人	1,456	1,443	1,326	1,393	1,453	
	B/A(%)	101.5%	89.3%	73.9%	88.7%	87.7%	
関係機関連携・支援	見込量(A)件						
	実績(B)件	497	728	877	1,086	1,239	
	B/A(%)						
普及啓発・研修	見込量(A)件						
	実績(B)件	151	202	170	202	169	
	B/A(%)						
発達障がい者支援地域協議会の開催	見込量(A)回						
	実績(B)回	1	1	1	1	1	
	B/A(%)						

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込み量確保のための方策			
近年5年の平均伸び人数及び相談支援体制を考慮して算出しています。		相談・調整機能を高め、支援者の育成や関係機関との連携により支援体制の充実を図ります。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
設置数	カ所	発達障がい児・者やその家族に対して、乳幼児期から学齢期そして成人期までのすべてのライフステージにおいて、保健・医療・教育・福祉・就労など各分野の関係機関との連携を図りながら、継続した支援を行うとともに、情報提供等を行います。	1	1	1
相談支援人数	人		1,414	1,414	1,414
関係機関連携・支援	件		1,611	1,797	1,983
普及啓発・研修	件		179	179	179
発達障がい者支援地域協議会の開催	回		1	1	1

(2) 選択事業

① 福祉ホーム事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
福祉ホーム	見込量(A)人	24	24	24	20	20	20
	実績(B)人	19	20	18	17	17	
	B/A(%)	79.2%	83.3%	75.0%	85.0%	85.0%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込み量確保のための方策		
現在の福祉ホームの定員枠を見込んでいます。			適正な事業実施を行います。		
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
福祉ホーム	人	障がい者に低額な料金で居室その他設備を提供するものです。	20	20	20

② 訪問入浴事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問入浴	見込量(A)人	61	61	61	70	70	70
	実績(B)人	75	70	76	79	76	
	B/A(%)	123.0%	114.8%	124.6%	112.9%	108.6%	

※ 人 : 1月当たりの実利用人数

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方			見込み量確保のための方策		
近年の実績等を考慮し、見込んでいます。			適正な事業実施を行います。		
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
訪問入浴	人	家庭での入浴が困難な障がい者宅を訪問し、入浴の機会を提供するものです。	76	76	76

③ 生活支援事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
オストメイト 社会適応訓練	見込量(A)人/回	29	29	29	31	31	31
	実績(B)人/回	30	32	28	26	25	
	B/A(%)	103.4%	110.3%	96.6%	83.9%	80.6%	
音声機能障がい 者発声訓練事業	見込量(A)人	53	53	53	60	60	60
	実績(B)人	54	65	75	73	71	
	B/A(%)	101.9%	122.6%	141.5%	121.7%	118.3%	
音声機能障がい 者発声訓練指導 者養成事業	見込量(A)人	15	15	15	11	11	11
	実績(B)人	11	11	11	10	12	
	B/A(%)	73.3%	73.3%	73.3%	90.9%	109.1%	
家族教室等 開催事業	見込量(A)か所	7	7	7	7	7	7
	実績(B)カ所	7	7	7	7	7	
	B/A(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込み量確保のための方策			
近年の実績等を考慮し、見込んでいます。		適正な事業実施を行います。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
オストメイト 社会適応訓練	人/回	オストメイトに対して、ストーマ装具に関することや社会生活に関する講習を行います。	26	26	26
音声機能障がい者発声 訓練事業	人	疾病等により喉頭を摘出し音声機能を喪失した者に対し発声訓練を行います。	73	73	73
音声機能障がい者発声訓練 指導者養成 事業	人	音声機能障がい発声訓練を行う指導者を養成します。	11	11	11
家族教室等 開催事業	カ所	精神障がい者を抱える家族等に対して、精神疾患及び障がいについて理解を深めることにより家族の支援力を高め、精神障がい者の社会復帰の促進を図ります。	7	7	7

④ 社会参加促進事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
スポーツ・レクリエーション教室 開催等事業	見込量(A)人	28,707	29,707	30,707	11,489	11,489	11,489
	実績(B)人	25,226	22,012	24,944	14,648	17,716	
	B/A(%)	87.9%	74.1%	81.2%	127.5%	154.2%	
芸術・文化講座 開催等事業	見込量(A)人	28,531	29,531	30,531	22,367	22,367	22,367
	実績(B)人	27,310	24,010	24,801	24,232	24,360	
	B/A(%)	95.7%	81.3%	81.2%	108.3%	108.9%	
点字・声の広報等 発行事業	見込量(A)件	1,209	1,209	1,209	1,064	1,064	1,064
	実績(B)件	1,086	1,064	963	907	872	
	B/A(%)	89.8%	88.0%	79.7%	85.2%	82.0%	
奉仕員養成研修事 業(手話、要約筆記、 点訳、朗読、盲ろう者 通訳・介助員)	見込量(A)人	77	77	77	449	449	449
	実績(B)人	87	74	90	549	507	
	B/A(%)	113.0%	96.1%	116.9%	122.3%	112.9%	
自動車運転免許 取得事業	見込量(A)件	14	14	14	21	21	21
	実績(B)件	15	26	28	25	31	
	B/A(%)	107.1%	185.7%	200.0%	119.0%	147.6%	
自動車改造 助成事業	見込量(A)件	48	48	48	42	42	42
	実績(B)件	43	41	39	36	26	
	B/A(%)	89.6%	85.4%	81.3%	85.7%	61.9%	

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込み量確保のための方策			
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業、芸術・文化講座開催等事業、点訳・朗読事業の見込量は、平成27年度以降、地域生活支援事業の実績数値に計上方法を変更しています。 全ての事業において、第5期も同内容の事業を実施し、近年利用者は横ばいになっているため、見込量は近年の実績等を考慮し、見込んでいます。		広く事業の周知を図っていきます。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	人	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障がい者の体力増強、交流、余暇等の過ごし方及び障がい者のスポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室や障がい者スポーツ大会を開催します。	17,716	17,716	17,716
芸術・文化講座開催等事業	人	障がい者の芸術・文化活動を振興するため、アート展やコンサートなど、芸術・文化活動の発表や交流の場を設けるとともに、障がい者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行います。	24,360	24,360	24,360
点字・声の広報等発行事業	件	文字による情報入手が困難な視覚障がい者のために、点訳、音声訳等の方法により、地方公共団体等の広報、障がい者関係事業の紹介、生活情報、その他の地域生活に必要度の高い情報などを定期的に提供します。	872	872	872
奉仕員養成研修事業(手話、要約筆記、点訳、朗読、盲ろう者通訳・介助員)*	人	聴覚障がい者等との交流活動の促進をはじめ、市町村の広報活動等に必要の手話表現技術を習得した手話奉仕員や手話通訳者、要約筆記に必要な技術等を習得した要約筆記者、盲ろう者の通訳・介助に必要な技術を習得した盲ろう者通訳・介助員、点訳または朗読に必要な技術等を習得した点訳奉仕員、朗読奉仕員を養成研修します。	528	528	528
自動車運転免許取得事業	件	自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成します。	28	28	28
自動車改造助成事業	件	身体障がい者が就労等に伴い、自らが所有する自動車を改造する際に要する経費の一部を助成します。	34	34	34

* 第4期計画から盲ろう者通訳・介助員養成事業を含めた。

⑤ 日中一時支援事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用回数	見込量(A)回/月	773	831	894	839	903	972
	実績(B)回/月	712	725	751	772	820	
	B/A(%)	92.1%	87.2%	84.0%	92.0%	90.8%	
実利用人数	見込量(A)人	280	297	315	320	344	370
	実績(B)人	257	276	301	332	348	
	B/A(%)	91.8%	92.9%	95.6%	103.8%	101.2%	

※ 回/月:1月当たりの利用回数

※ 人 :1月当たりの実利用人数

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込み量確保のための方策			
平成28年度実績に、平成26年度から平成28年度の伸び率を乗じています。		利用者の増加に対応したサービス提供体制の確保に努めます。			
サービスの種類		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用回数	回/月	介護者の疾病等のため一時的に介護ができない場合に、施設等で日帰りの預かりを行うものです。	898	940	983
実利用人数	人/月		403	434	466

⑥ その他の事業

○第3期及び第4期計画の実績

サービスの種類	見込量・実績	第3期			第4期		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
「障がい者110番」運営事業	見込量(A)件	560	560	560	339	339	339
	実績(B)件	408	270	207	179	248	
	B/A(%)	72.9%	48.2%	37.0%	52.8%	73.2%	

○第5期計画の見込量

実施に関する考え方		見込み量確保のための方策			
近年の実績等を考慮し、見込んでいます。		障がい者の相談支援事業と連携して事業を実施していきます。			
事業名		事業の概要	第5期見込量		
			平成30年度	平成31年度	平成32年度
「障がい者110番」運営事業	件	障がい者の権利擁護にかかる相談等に対応するため、常設相談窓口を設置して相談を行うほか、弁護士等による定期相談や専門相談を行います。	267	277	288